

『神の愛を心に刻む』 エレミヤ書 31章18～34節 2015.7.5(主日礼拝説教より)

『…わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、彼らの心にこれを書きしるす。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。』
エレミヤ書 31:33

『見よ、その日が来る(31 節)』。『見よ』とは、私たちの信仰を呼び覚ます言葉である。神殿も壊され、故郷を失い、捕囚の 70 年が決定的となっていた、その絶望的な状況が変えられる日が来る！その日「疲れた魂は潤され／壊れたものが建て直され／神と人の新しい契約が結ばれる(25～31 節)」という。古い契約(律法)は、私たちの罪(弱さ、愚かさ、傲慢さ)を暴露し、新しい契約(恵み)は、罪ゆえに受け取れなかった、神からのすべての祝福を与えるものである！①新しい契約(恵み)の第一の特徴は、神の戒律が心に刻まれること(33 節)。律法は本来、神にも人にも喜ばれる人生を送るための素晴らしい戒めだが、神の本質が突きつけられ、実行が命令されていくとき、それは義務となり、責任となり、重荷となっていく。律法は、完全を要求し、実行を命令するが、恵みは、それらを、イエス・キリストを通して与え、信仰を促し、聖霊を通して励まし、実行できるように助けて下さる。もはや、嫌々、渋々ではなく心から喜んで行うようになれるのである！②恵みの第二の特徴は、神様との個人的な交わりの回復！『人々はもはや「主を知れ」と言って、おのおの互いに教えない。それは、彼らがみな、わたしを知るからだ(34 節)』とある。誰かに教えてもらわなくても、聖書を読むとき御言葉が心に迫り、神の御旨が魂に響き、御言葉が「御声」になる！プライベートな主との交わりこそ信仰生活の生命線である。③恵みの最高の特徴は、完全な赦罪である！『わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さないからだ(34 節)』。どんな契約違反があっても完全に赦される道がある！その動機は 20 節『わたしのはらわたしは彼のためにわななき、わたしは彼をあわれまずにはいられない』。M・ルターは下線部を『我が心臓は張り裂けた』と訳した。神の愛から離れ、罪の中にいる私たちを裁けば裁くほど神の思いは募り、罰すれば罰するほどに憐れみが高まったという。その神の痛みが最高潮に達したのが十字架だった。そこで神ご自身が私たちの罪を背負い、その身をもって罪の罰とのろいと裁きを受けられたとき、まさにキリストの心臓は張り裂けた(ヨハネ 19:34)。たとえ私たちが神を棄てても、神は私たちを見捨てない！この激しく真実な愛があればこそ、私たちは救われる(ヘブル 13:5)。イエス様を信じて、この愛を心に刻み、へりくだり、感謝し、罪は罰からの救いをいただく。